



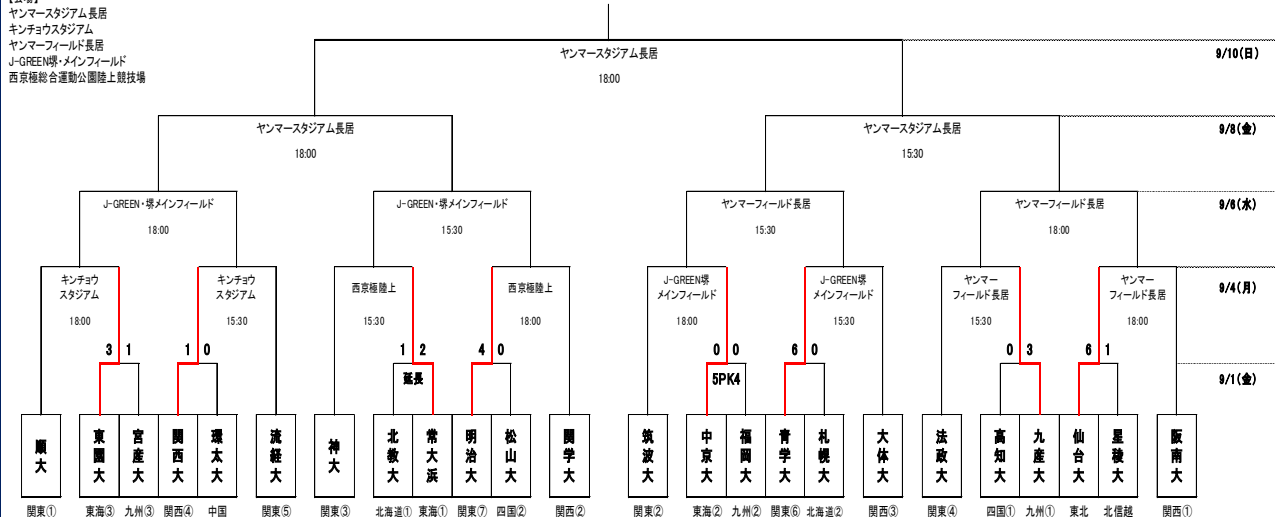
真の大学日本一へ



©JUFA

【会場】

ヤンマースタジアム長居
キンチョウスタジアム
ヤンマーフィールド長居
J-GREEN堺・メインフィールド
西京極総合運動公園陸上競技場



ゴミは各自で
お持ち帰りください。

総理大臣杯の1回戦から準々決勝は
無料で観戦できます！



発行:関西学生サッカー連盟
TEL 06-6268-6400
WEB <http://www.jufa-kansai.jp/>

Match Preview

試合の見どころ

キンチョウスタジアム	15:30 KICKOFF	Reported by 岡田浩幸(読売新聞社運動部)
関西大学	VS	流通経済大学

関西大学は1回戦同様、粘り強く戦って好機をものにしたい。DF4、荒木隼人(3年)は「相手のFWはスピードがあり、集中して臨まないといけない」と警戒する。

流通経済大学はFW10、ジャーメイン良(4年)やMF5、守田英正(4年)らタレントが豊富で、選手層も厚い。守備も安定しており、2013、14年大会を連覇するなど大一番での勝負強さも光る。

キンチョウスタジアム	18:00 KICKOFF	Reported by 岡田浩幸(読売新聞社運動部)
順天堂大学	VS	東海学園大学

昨年準優勝で、「忘れ物を取りにきた」という順天堂大学はユニバーシアード日本代表で活躍したFW11、旗手伶央(2年)やMF7、名古屋新太郎(3年)らタレントがそろそろ。

東海学園大学はFW14、武田拓真(4年)ら攻撃陣が好調で、先制して主導権をつかみたいところ。武田は「相手は強いが、判断、切り替えを速くして挑みたい」と気合を込める。

ヤンマーフィールド長居	15:30 KICKOFF	取材協力 森田将義(フリーライター)
法政大学	VS	九州産業大学

20回目の節目の出場で、35年ぶりの優勝奪取を目指す法政大。「速攻と遅効を使い分け、チームカラーのオレンジの通り情熱的に戦いたい」と長山一也監督。FW20、上田綺世(1年)の得点力に注目。

九州産業大学の鍵となるのは中盤の出来栄。GK21、加藤大喜(4年)は「ボランチの所でもっと前を向ければ、もっと良い攻撃ができたと思う」と、1回戦終了後、3列目が上手くボールを受けることができれば好機に期待できる。森下仁之監督が挙げるのは守備。「一対一の状態で最終ラインを突破させないよう気をつけたい」と話す。

ヤンマーフィールド長居	18:00 KICKOFF	取材協力 森田将義(フリーライター)
仙台大学	VS	阪南大学

「厳しい戦いにはなると思うが、今度こそ勝ちたい」と意気込む吉井秀邦監。阪南大学は過去3年で二度対戦しながらも一度も勝てていない因縁の相手。試合のポイントとして挙げるのは中盤での攻防。攻守の切り替え意識を高めることで、全日本大学選抜のMF8、重廣卓也(4年)とMF14、脇坂泰斗(4年)の動きを封じるつもりだ。

阪南大学の須佐徹太郎監督は重廣、脇坂、FW10、山口一真(4年)のJリーグ内定3選手に加え、去年の公式戦で唯一フル出場をしたMF6、藤原奏哉(4年)がキーと語る。

関西学生サッカー連盟公式SNS

- ①試合前日には、公式facebookにて試合の見どころを紹介！！
- ②試合当日には、公式Twitterにて全会場の前半スコア&試合終了時スコアを投稿！！
※当日のメンバー表&公式記録は公式facebookにて投稿します。
- ③試合後の詳しい結果を公式facebookにて投稿！！

各公式サイトへはQRコードより読み取り、アクセスしていただけます。
大会情報盛りだくさんの関西学生サッカー連盟公式SNSをぜひご活用ください！

SNSアカウント一覧

facebook



Twitter



関西学生サッカーに専用スタジアムを!!

関西学生サッカーの聖地づくりを目標に“未来・夢倶楽部会員”を募集しています！ 終身会費30,000円で、いつでも入会可能！

※未来夢倶楽部は当連盟主催・主管の全ての大会に無料で入場可能です。

入会案内は入場ゲート・受付にご用意しています！



関西学生サッカー未来・夢倶楽部
会員募集中！！



夢実現はわたしたちの合言葉



J-GREEN堺・メインフィールド	15:30 KICKOFF	Reported by 関西学連 荒木茂
青山学院大学	VS	大阪体育大学

1回戦、札幌大学を6-0の大差で降した青山学院大学。MF11、小田寛貴(4年)のハットトリックなど、分厚い攻撃陣の活躍が目立った。流郷吐夢監督はフィジカルの強い大阪体育大学に、「チャレンジャー精神でぶつかる」と気を引き締めた。

その大阪体育大学は、ユニバーシアードで優勝に貢献したDF4、菊池流帆(3年)らが迎え撃つ。「不気味な存在でいたい」と上位進出をうかがう松尾元太監督。目の離せない試合展開になりそうだ。

J-GREEN堺・メインフィールド	18:00 KICKOFF	Reported by 関西学連 荒木茂
筑波大学	VS	中京大学

天皇杯でJリーグ勢を撃破し4回戦進出を決めている筑波大学は、優勝候補筆頭の呼び声が高い。FW11、中野誠也(4年)、MF9、三苦薫(2年)もユニバーシアード優勝を土産に合流し、小井土正亮監督も「大阪で強い筑波を見せたい」と意気込む。

対する中京大学は1回戦でPK戦の末、難敵・福岡大学を降した。朝倉吉彦監督は「筑波には昨年のインカレで0-5で敗れた。この差を縮めるために2年間やって来た」と話し、2回戦も堅い守りで臨む構えだ。

西京極総合運動公園陸上競技場	15:30 KICKOFF	取材協力 貞永晃二(サッカーライター)
神奈川大学	VS	常葉大学浜松キャンパス

関東2部に所属する神奈川大学はインカレに出場するには総理大臣杯の優勝が必須。9年ぶりの出場チームを指揮して3年目の長谷川大監督にも選手にとっても初出場同様。U-19代表でボランチのMF13、金子大毅(1年)の活躍に注目。

常葉大学浜松キャンパス・澤登正朗監督は、「今年は得点力がないので、爆発的な戦いはできない。ベースとなる守備の原則は徹底してやり込んでいるが、初戦でセットプレーで1つ失点したというところは修正しなければならないと思う」と語る。「去年も2回戦、延長でやられたので、今年はこの先を目指し、勝ちたいと思っている」と力強く語る。

西京極総合運動公園陸上競技場	18:00 KICKOFF	取材協力 貞永晃二(サッカーライター)
明治大学	VS	関西学院大学

明治大学・栗田大輔監督は、春以来の復帰となったエースFW10、木戸皓貴(4年)を「彼らしい動きも出て、ストレスなくプレーできていた。ボールが収まるし背後に抜けるのも上手い。交代で入ったの得点でチームに力を与えてくれた」「ケガ人が戻りチーム力の底上げになっている」と笑顔。関西学院大学は2年前の夏の決勝、冬の準決勝と二度全国で敗れた因縁の相手だけにリベンジに意気込みを見せる。

一体感と挑戦を掲げる関西学院大学。「関西学生リーグと選手権、夏の期間で一人ひとり成長してきた」と古塚恵太郎監督。「この大会で自分たちの現在地と成果を感じて成長の場にできれば」と語り、経験値のあるGK1、上田智輝(4年)、DF6、小川原一輝(4年)に期待する。

テレビ放送のご案内

放送局	放送日	放送時間
読売テレビ	9月10日(日)	深夜1:32~
日テレG+	9月24日(日)	13:30~
再放送	9月30日(土)	7:30~

※放送時間は変更になる可能性があります。大会プログラムP.6・7にも掲載しています。



Match Review Result & Report

Reported by 岡田浩幸(読売新聞社運動部)

東海学園大学

vs

宮崎産業経営大学

2017年9月1日(金) 15:34キックオフ
会場/キンチョウスタジアム 天候/晴 入場者数/210人

東海学園大学が攻撃力の高さを見せつけた。「立ち上がりは緊張もあって、動きが硬かった」とFW14、武田拓真(4年)は話したものの、徐々にボールが足元に落ち着き、テンポ良くパスが回り始める。13分、敵陣中央でMF10、渡邊柊斗(3年)のスルーパスに武田が反応。相手GKやDFをかわしながら、右足で蹴り込んで先制ゴールを挙げた。

その後は宮崎産業経営大学も中盤で激しくプレスをかけ、60分にはMF16、前田棕介(2年)が強烈なミドルシュートを放つなど、試合は一進一退の膠着状態。そんな状況を打開したのは、東海学園大学で途中出場のFW32、上田泰雅(4年)だった。73分、武田のシュートを相手GKがはじいたこぼれ球にいち早く反応し、右足で2点目を決めると、86分には相手ゴール前で細かくパスをつなぎ、最後は再び上田が振り向きざまのシュートを決めて、3点目。宮崎産業経営大学は後半アディショナルタイムにゴールほぼ正面のFKをDF10、モア徳彦(4年)が直接ゴール左隅に蹴りこんで1点を返したが、反撃は及ばなかった。

東海学園大学は昨年に続く初戦突破。FW14、武田拓真(4年)は「時間とともに自分たちの距離感でプレーできるようになった。さらに完成度を高めたい」と次戦に意気込んだ。

東海学園大学	3	1-0 2-1	1	宮崎産業経営大学
13分 武田拓真(渡邊柊斗)			90+2分 モア徳彦	
73分 上田泰雅		得点		
86分 上田泰雅(武田拓真)		(アシスト)		



Reported by 岡田浩幸(読売新聞社運動部)

関西大学

vs

IPU・環太平洋大学

2017年9月1日(金) 18:00キックオフ
会場/キンチョウスタジアム 天候/晴 入場者数/783人

中盤のパスワークで優位に立つ関西大学と、相手ディフェンスラインの裏を突くIPU・環太平洋大学の対戦は、じりじりとしたせめぎ合いとなった。

関西大学は高い位置からプレスをかけ、左サイドのMF20、牧野寛太(2年)やMF7、藤村洋太(4年)を起点に攻勢をかける。25分には藤村の縦パスを受けたFW17、竹下玲王(4年)が切り返してシュートを狙ったが、相手GK31、宮野光雄(3年)の正面。その後も攻め続けながら、宮野の再三の好セーブにあい、ゴールが遠かった。

一方のIPU・環太平洋大学も、なかなか決定機が作れない。27分には右クロスを受けたFW15、山本拳志(2年)が強烈なシュートを放つも枠の外。その後もロングボールで裏を狙い、相手守備を崩そうとしたが、関西大学の堅守に阻まれた。

試合が動いたのは、延長戦突入かと思われた後半アディショナルタイムだった。関西大学の右コーナーキックをファーサイドにいたDF4、荒木隼人(3年)が頭で押し込む。GK宮野が必死でかき出すもボールはゴールラインを割り、これが決勝点となった。荒木は「無失点で抑えていれば、最後にチャンスが来ると信じていた」と、土壇場での大仕事に胸を張った。

関西大学	1	0-0 1-0	0	IPU・環太平洋大学
90+3分 荒木隼人(塩見仁)		得点		
		(アシスト)		



Match Review Result & Report

Reported by 森田将義 (フリーライター)

仙台大学

vs

金沢星稜大学

2017年9月1日(金) 15:31キックオフ
会場/ヤンマーフィールド長居 天候/晴 入場者数/324人

仙台大学	6	3-0 3-1	1	金沢星稜大学
------	---	------------	---	--------

4分 宮澤弘	74分 米倉拓巳(斉藤和也)
33分 川口大翔	
41分 宮澤弘	得点
54分 宮澤弘(鳴海彰人)	(アシスト)
63分 本吉佑多(宮澤弘)	
78分 人見大地(林洋毅)	

4分に、ゴール前へ飛び出したFW14、宮澤弘(4年)のゴールで均衡を崩した仙台大学は、以降も「攻撃と守備の両立を意識した」(MF10、山田満夫)ゲーム運びで主導権を握りながら、試合を進めていく。守前線からの積極的な守備で失点を防ぎつつ、機を見ては攻撃に転じると、33分には、混戦からのこぼれ球をDF4、川口大翔(4年)が押し込み加点。41分にも、相手DFのバックパスを奪った宮澤が、3点目をマークした。後半も仙台大学のペースは衰えず、54分に生まれた宮澤のゴールを皮切りに、3点を追加。74分には、警戒していたMF10、斉藤和也(4年)のロングスローがゴール前に入ると、こぼれ球をFW7、米倉拓巳(4年)に押し込まれ、1点を返されたが、余裕のある試合運びで、2回戦進出を決めた。



Reported by 森田将義 (フリーライター)

高知大学

vs

九州産業大学

2017年9月1日(金) 18:00キックオフ
会場/ヤンマーフィールド長居 天候/晴 入場者数/391人

高知大学	0	0-2 0-1	3	九州産業大学
------	---	------------	---	--------

	8分 関恭範(末永巧)
得点	35分 赤木翼
(アシスト)	65分 中島圭大(末永巧)

9年ぶりの出場となった九州産業大学は序盤、ボランチが上手く前を向けず狙い通りのパス回しが機能しなかったが、8分にMF14、末永巧(3年)のパスを中盤で受けたMF10、関恭範(4年)がドリブルからミドルシュートを叩き込み、先制に成功。以降は、MF10、下園直輝(4年)を中心にピッチの幅を使った攻撃を見せた高知大学に押される時間帯もあったが、35分にはMF7、赤木翼(3年)が自ら蹴ったPKのこぼれ球を押し込み、リードを2点差とした。後半からは、ボランチからの配球が改善し、高い位置での仕掛けが増加。粘り強い守りも機能し、試合の主導権を握ると、65分には左CKからDF3、中島圭大(4年)が加点した。「セットプレーから、3点目を獲れたのが大きかった」(森下仁之監督)九州産業大学は、以降は上手く逃げ切り勝ちをおさめた。



Match Review Result & Report

Reported by 関西学連 荒木茂

中京大学

vs

福岡大学

東海と九州の雄が初戦で激突し、期待に違わぬ好ゲームを展開した。0-0のまま延長戦でも決着がつかず、勝負はPK戦に。中京大学GK1、川村慎(4年)と福岡大学GK1、永石拓海(4年)という、ともに190cmを超える長身GK対決となり、6人中5人が成功した中京大学が大接戦を制した。

前半、風上の福岡大学は開始早々から中京大学を圧倒した。終始相手陣内で試合を進め、立て続けにCKを獲得。しかし、中京大学はDF陣の頑張りや川村の高い壁で跳ね返し、得点を与えない。さらに、福岡大学はMF15、大熊健太(2年)ら中盤からたびたび中京大学のゴールに迫るが、なかなかラストパスからシュートに持ち込めない。

一方の中京大学はカウンター攻撃で、相手サイドバックの裏にMF21、坂本広大(4年)らが走り込むが、こちらも決定機には至らない。75分すぎ、交代出場のMF14、大城佑斗(3年)のシュートがバーを叩くなど、惜しい場面もあったが、ゴールを割れなかった。

PK戦を制した中京大学・朝倉吉彦監督は「今季は計6回、PK戦を経験してきた。それがプラスになったのかも」。敗れた福岡大学・乾真寛監督は「あと一歩だったが、1点を決める力がなかった」と決定力不足に無念の表情だった。

2017年9月1日(金) 15:30キックオフ
会場/J-GREEN堺・メインフィールド 天候/晴 入場者数/335人

0-0		0-0	
0-0		0-0	
中京大学	0	0	福岡大学
0-0		0-0	
5PK4			
得点		(アシスト)	



Reported by 関西学連 荒木茂

青山学院大学

vs

札幌大学

青山学院大学が大差で勝利をつかんだ。10分過ぎから押し込む時間帯が続く、19分に先制。MF10、小泉佳穂(3年)がファーサイドへあげたCKをFW29、菅原大雅(1年)が折り返し、ゴール前に待ち構えたDF3、池庭諒耶(2年)が頭で決めた。さらに31分、GKからDFへのパスをカットしたMF11、小田寛貴(4年)が最後はGKを交わし、左足で無人のゴールに蹴り込んだ。

3-0で試合を折り返した青山学院大学は、後半も小田の2得点などで札幌大学を圧倒。終わってみれば6得点という大勝となった。流郷吐夢監督は「先制すると、チームがまとまる。前半のCKをものにできたのが大きかった」と振り返る。攻守の切り替え、球際の勝負を課題にしてきたといい、「基本に立ち戻って臨みたい」と2回戦以降の抱負を語った。ハットトリック達成の小田は「2点は仲間のおかげで取れた点」とチームメートへの感謝を口にした。

伝統の「ボール狩り」をモットーに挑んだ札幌大学だったが、持ち味を存分に発揮することができなかった。DF5、按田頼(2年)が左から迫力のある攻め上がりを見せるなど、相手ゴールに迫ったが、無得点に終わり、浅野裕史監督は「もっと、わくわくするサッカーを見せたかった」と唇をかんだ。

2017年9月1日(金) 18:35キックオフ
会場/J-GREEN堺・メインフィールド 天候/晴 入場者数/109人

青山学院大学	6	3-0 3-0	0	札幌大学
19分 池庭諒耶(菅原大雅・小泉佳穂)				
31分 小田寛貴				
41分 中島康輔(小泉佳穂)				
51分 小田寛貴(窪田大地)				
68分 瀧川泰樹				
51分 小田寛貴(久保田成樹)				
得点 (アシスト)				



Match Review Result & Report

Reported by 貞永晃二(サッカーライター)

明治大学

vs

松山大学

2017年9月1日(金) 15:30キックオフ
会場/西京極総合運動公園陸上競技場 天候/晴 入場者数/268人

昨年、今大会初制覇を果たした明治大学だが、メンバーが一一新した今年は関東地区予選で苦しみ、最終の7枠目でようやくの出場。この試合ではユニバー代表から戻ったMF6、柴戸海(4年)はベンチ、DF2、岩武克弥(3年)はメンバー外で臨む。一方、2年連続出場の松山大学は、2年が7名、1年が2名という下級生中心のスタメンで、昨年はね返された1回戦突破を狙う。序盤から明治大学は、個々の技術や駆け引きで上回り、前線からのプレスと球際の激しさでペースを握り、10分にFW9、土居柊太(4年)のシュートのこぼれをFW15、村田航一(3年)が決め先制した。しかし、松山大学も15分、絶好機を迎えるがFW10、智葉隆盛(4年)が外してしまふ。ヒヤリとした明治大学だが、松山大学の体を張った粘り強い対応の前に2点目は奪えず前半終了。後半の頭から久々出場のFW10、木戸皓貴(4年)を送った明治大学は攻撃のスピードを上げ、56分に相手クリアミスに乗じて土居が決めると、2分後にも木戸が低いクロスに飛び込んで3-0と差を広げた。交代カードを切って1点を狙う松山大学だったが、「セカンドボールを全然拾えなかった」とゲームキャプテンDF2、兵頭俊昭(2年)の言葉通り意図した攻撃はできずじまい。84分、交代直後のMF32、河辺駿太郎(3年)がダメ押しの4点目を決め、明治大は連覇に向けて好発進した。

明治大学	4	1-0 3-0	0	松山大学
15分 村田航一				
56分 土居柊太(袴田裕太郎)		得点		
58分 木戸皓貴(佐藤亮)		(アシスト)		
84分 河辺駿太郎(袴田裕太郎)				



Reported by 貞永晃二(サッカーライター)

北海道教育大学岩見沢校

vs

常葉大学浜松キャンパス

2017年9月1日(金) 18:00キックオフ
会場/西京極総合運動公園陸上競技場 天候/晴 入場者数/219人

3年連続出場のチーム同士の対戦。「無理なビルドアップを引かけられて失点というリスクを避け、相手DFラインの背後が弱いと見たのでラフなボールで」という澤登正朗監督のプラン通り、常葉大学浜松キャンパスはロングボール主体の攻撃で主導権を握る。対する北海道教育大学岩見沢校・越山賢一監督は「蹴られてもオフサイドトラップやヘディングで競れたし、崩されはしなかったがボディブローで効いた」と相手の攻撃がかなり意外だった様子。それでも前半の決定機は北海道教育大学岩見沢校に多かったが、ともに守備で集中を保ち前半はスコアレス。そして得意のセットプレー、先にモノにしたのは北海道教育大学岩見沢校だった。50分、左CKから長身DF8、重森剛司(4年)が決め試合を動かした。「少し動揺があった」と澤登正朗監督。しかし、北海道教育大学岩見沢校のリードは11分間だけ、常葉大学浜松キャンパスは右CKからDF4、長島来雅(4年)が決め同点とする。気温が下がる中、ハードワークする両チームの試合は逆に熱を帯びていく。だが、北海道教育大学岩見沢校のシュートは枠を外れ、常葉大学浜松キャンパスもバーに嫌われた。スピードのある交代選手で「両脇をかき回そう」とした澤登正朗監督だったが、90分決着はならず。そして延長に入った95分、左サイドを崩し常葉大学浜松キャンパスの交代選手MF26、野ヶ山春輝(2年)が自らのシュートのこぼれを押し込み試合は決着した。

北海道教育大学岩見沢校	1	0-0 1-1 0-1 0-0	2	常葉大学浜松キャンパス
50分 重森剛司(遠藤祐馬)		得点		
		(アシスト)		
			61分 長島来雅(土居智之)	
			95分 野ヶ山春輝(永野広夢)	



Official Goods

第41回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント グッズ販売！

◎ユニフォーム型ストラップ



全24チーム分販売！
売り切れ御免！

販売価格 500円

◎記念タオル



販売価格 700円

◎公式プログラム

販売価格 1000円



販売は各会場入場ゲートにて。
ご来場の記念にぜひお買い求めください！

第41回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 広報企画！

トモニタカオウ企画

トモニタカオウ企画として出場校の選手やスタッフたちが書いた「応援をしてくれる仲間や家族、恩師などに向けてのメッセージ」を関西学生サッカー連盟公式Google+アカウントにて公開しています！是非ご覧ください！



第41回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 勝敗予想企画！

試合観戦で素敵な商品をGETしよう！！
・勝敗予想企画でマンダム商品が当たる



■勝敗予想

応援するチームの勝利を予想して
景品を当てよう！
試合開始前に勝敗予想用紙を
勝敗予想BOXに入れてね！



TICKET

お買い求めについて

チケットぴあにて販売中！ (準決勝より有料)

チケットぴあ

(Pコード 684-872)

	前売り	当日
大人	¥800	¥1,000
中高生	¥300	¥400

※試合会場でもお買い求めいただけます。お買い求めは入場ゲート横物販コーナーにて。



禁煙・ゴミの持ち帰りに
ご協力お願いします。



好プレーに

CLAP

関西学生サッカーファンクラブのご案内

関西学生サッカーを盛り上げるため、選手たちを熱くサポートしよう！

◎会員特典

- ① 関西学連主催・主管大会の入場無料。
- ② 関西学連主催・主管大会のプログラム・チケットの送付。
- ③ ファンクラブニュース、年10回程度発行。

【お申込み】

下記の宛先に顔写真(2×3cm)2枚と年会費(4000円)、「氏名・住所・電話番号・生年月日・年齢・職業・応援している大学・選手」をご記入の用紙を同封し、現金書留にてお申込み下さい。

〒541-0059 大阪市中央区博労町1-4-10 博労町エステートビル601

関西学生サッカー連盟「ファンクラブ入会」係 まで

